

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 3日

静岡県知事 川 勝 平 太 殿

提出者

住所 静岡県沼津市大岡2068-3

氏名 芝浦機械株式会社 沼津工場

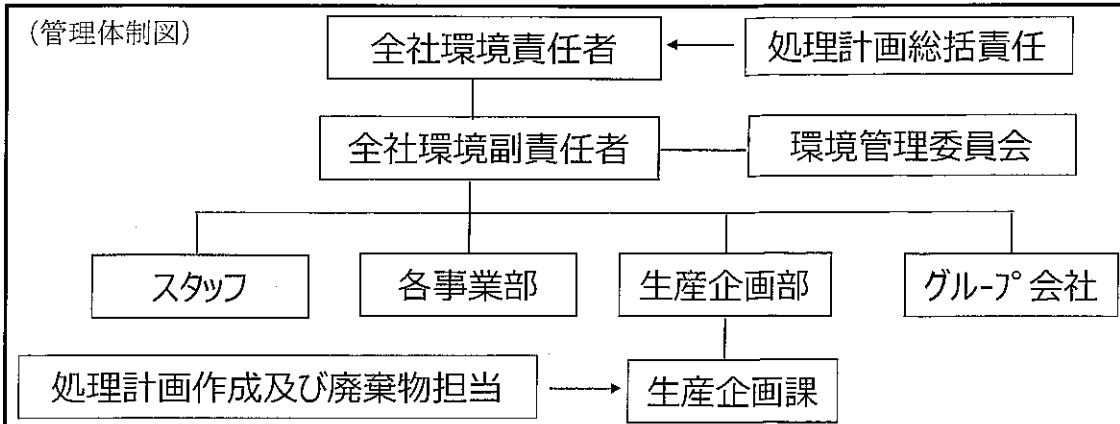
上席常務執行役員 後藤 英一

電話番号 055-926-5029

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	芝浦機械株式会社 沼津工場													
事業場の所在地	静岡県沼津市大岡2068-3													
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで													
当該事業場において現に行っている事業に関する事項														
① 事業の種類	26 生産用機械器具製造業													
② 事業の規模	361億円/年(令和3年度) (沼津工場 製品出荷額等)													
③ 従業員数	835名 (沼津工場 令和4/3/31 現在)													
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">生産用機械器具 製造工程</td> <td>鋸さい</td> <td>委託処理(破砕)</td> </tr> <tr> <td>木くず</td> <td>委託処理(破砕)</td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td>委託処理(中和)</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>委託処理(破砕)</td> </tr> <tr> <td>汚泥・廃ガラス</td> <td>委託処理(破砕)</td> </tr> <tr> <td>蛍光灯</td> <td>委託処理(破砕)</td> </tr> </table>	生産用機械器具 製造工程	鋸さい	委託処理(破砕)	木くず	委託処理(破砕)	廃油	委託処理(中和)	廃プラスチック類	委託処理(破砕)	汚泥・廃ガラス	委託処理(破砕)	蛍光灯	委託処理(破砕)
生産用機械器具 製造工程	鋸さい		委託処理(破砕)											
	木くず		委託処理(破砕)											
	廃油		委託処理(中和)											
	廃プラスチック類		委託処理(破砕)											
	汚泥・廃ガラス		委託処理(破砕)											
	蛍光灯	委託処理(破砕)												

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		1,502 t	
	産業廃棄物の種類	別表1のとおり		
	排出量		t	t
	(これまで実施した取組) 廃砂→人工砂採用のための調査及びテスト推進 廃油→長寿命化の推進 廃プラスチック→梱包材等の簡易梱包等への見直し 木くず→梱包の簡素化			
②計画	【目標】		1,838 t	
	産業廃棄物の種類	別表1のとおり		
	排出量		t	t
	(今後実施する予定の取組) 1) なるべく長期間物を使用する 2) 過剰な数量の使用を抑制する 3) 部品又は原材料種類について工夫された製品を使用する 4) 簡易包装推進			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・プラスチック製品：金属とプラスチックに分ける。金属は、有価物として排出 ・電池：乾電池と小型充電式電池を分け、後者はJBRC(日本リサイクルセンター(株))により無料回収
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・「廃棄物に異物を混入させない・分別徹底」の指導継続 ・「分別不明時、廃棄物分別基準確認および環境担当者への確認」

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 計画無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 計画無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 計画無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表2のとおり	
	全処理委託量	1,502 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	423 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,496 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 1)/優良認定処理業者へ委託 2)/廃棄物再利用化の企業模索		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表3のとおり	—
	全処理委託量	1,838 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	523 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,830 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 1) 優良認定申請予定業者への進捗確認 2) 廃棄物再利用化ができる企業模索		
※事務処理欄			

第2面(別表1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	①前年度(R3年度)排出量(t)	②目標(R4年度)排出量(t)
鋳 さい	1080.4	1321.0
廃 油	210.1	257.0
廃プラスチック	99.9	122.0
木 く ず	92.6	113.0
汚 泥	12.2	15.0
ガラス・陶磁器	6.6	8.1
金 属くず	0.4	0.5
がれき類	0.0	0.5
繊維くず	0.0	0.5
廃 酸	0.0	0.0
合 計	1502.2	1837.6

※R3年度に対しR4年度は、売上高が大きく増加する見込みの為、排出量も比例して増加する見込み。

第4面(別表2)

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状【前年度(R3年度)実績】

産業廃棄物の種類	全処理委託量(t)	再生利用者への処理委託量(t)	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量(t)
鋳 さい	1080.4	1080.4	0.0	102.7
廃 油	210.1	210.1	0.0	210.1
廃プラスチック	99.9	99.9	0.0	63.9
木 く ず	92.6	92.6	0.0	38.3
汚 泥	12.2	12.2	0.0	6.7
ガラス・陶磁器	6.6	0.6	0.0	0.6
金 属くず	0.4	0.4	0.0	0.4
がれき類	0.0	0.0	0.0	0.0
繊維くず	0.0	0.0	0.0	0.0
廃 酸	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	1502.2	1496.2	0.0	422.7

※ガラス・陶磁器の6tが埋立処理となった。

第5面(別表3)

産業廃棄物の処理の委託に関する

②計画【目標(R4年度)】

産業廃棄物の種類	全処理委託量(t)	再生利用者への処理委託量(t)	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量(t)	優良認定処理業者への処理委託量(t)
鋳 さい	1321.0	1321.0	0.0	132.1
廃 油	257.0	257.0	0.0	257.0
廃プラスチック	122.0	122.0	0.0	78.1
木 く ず	113.0	113.0	0.0	46.3
汚 泥	15.0	15.0	0.0	8.3
ガラス・陶磁器	8.1	0.7	0.0	0.7
金 属くず	0.5	0.5	0.0	0.5
がれき類	0.5	0.5	0.0	0.0
繊維くず	0.5	0.5	0.0	0.0
廃 酸	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	1837.6	1830.2	0.0	523.0